

稲葉ダムだより

発行: 竹田ダム建設事務所
事務局 鹿島・大林・さとうJV 稲葉ダム本体建設工事事務所
竹田市大字下坂田830
TEL 0974-66-3939 FAX 0974-66-3940

読書、スポーツ、味覚の秋がはじまりました。稲葉ダム近隣地域のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。稲葉ダムでは10月15日にダム本体の完成検査が終了し11月7日(日)によいよ竣工式を行います。この竣工式の日を無事に迎えられるのも地域や関係者のみなさまの長年にわたる格段のご理解とご協力のおかげです。また竣工式後に周回道路が一般解放されます。竣工した稲葉ダムのや自然いっぱいの周回道路をご覧くださいませようお願いします。まだ一部の工事が残っておりますので通行にはご注意下さい。

ダム本体完成検査！！

10月15日(金)、稲葉ダム本体の完成検査が行われました。本庁からの検査員が厳重なチェック、検査を行いました。



検査員の質問に答弁する稲葉ダム本体内の担当員。厳しい検査が行われる。



稲葉ダム本体内、
いよいよ11月7日(日)の竣工式へ！！

中国敦煌市からの稲葉ダム視察！！

9月29日(水)、臼杵市との姉妹都市である中国敦煌(トンコウ)市からの農業研修生、劉(リュウ)氏、呉(ウー)氏の2名が稲葉ダムを視察に訪れました。日本と経済発展の著しい中国との交流の架け橋になってもらえるようお願いしております。



ダムの堤体にて撮影



ダムの堤体内(バルブ室)にて説明を受ける劉氏、呉氏

地質学会見学会！！

10月17日(日)、大分地質学会の会員25名が参加し、ダム貯水池周辺の地質、特に宮城火砕流や今市火砕流について、詳しく現地の見学を行いました。



現地(赤谷)での露頭(宮城火砕流)の見学風景

たけた竹灯籠「竹楽」の準備作業に参加！！

11月19日(金)～21日(日)の3日間、竹田市においてたけた竹灯籠「竹楽」が開催されます。平成12年から始まった竹楽は多くのボランティアが参加し期間中に10万人の観光客が訪れる竹田市を代表するイベントです。今年設置される竹灯籠は2万本。この竹灯籠に使われる竹の加工、運搬などの作業にダム事務所からも職員が参加しました。



竹灯籠に用いる竹の加工を行う作業。この日の参加人数は午前中だけでも20名以上、2400本の竹灯籠を作成しました。



加工された竹灯籠を一輪車に乗せて運搬する作業。切断された20本程度の竹を一輪車に積み込み近くの集積所まで運搬します。運搬が間に合わないほどの早さで次々と竹が切断され、加工されていきます。



例年の竹楽風景

出来上がった竹灯籠には11月19日(金)から点火が行われます。竹灯籠の加工作業は10月9日～11月14日の毎週土曜、日曜に行われます。

県南地区合同研修会！！

10月15日(金)、県南地区の土木事務所の若手職員が玉来ダムの地質調査成果品を題材とした土質試験方法、地質調査方法、地形の成り立ちについての研修を受けました。地質の専門家を講師としてお招きし職員の技術力向上につながる研修となりました。



臼杵土木事務所、佐伯土木事務所、竹田土木事務所、豊後大野土木事務所、竹田ダム建設事務所から計25名が研修会に参加。応用地質(株)、(株)建設技術研究所から講師の方をお招きしました。



スクリーンを用いて地質の調査法について講義を行う講師。